

パリ政治学院 (Sciences Po) 春季短期留学
European Affairs Programme 2023 参加学生募集要項

2022.10

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-SciencePo_00001.html

1. 概要

本プログラムは、ヨーロッパの有力大学の一つであるパリ政治学院 (Sciences Po) によって実施される春季の短期留学プログラムである。(※使用言語は英語、ただし希望する学生はフランス語の語学の授業も受講できる。)

本プログラムの参加者うち、要件を満たし希望する者には、奨学金 10 万円 (返済不要) を支給する。(詳細は別添 1 「奨学金の支給要領及び受給資格・要件について」参照)

日本のパートナー大学の学生向けに実施されるプログラムであるため、日本の三大学 (本学の他、北海道大学、東京外国語大学) に所属する学生が対象であり、今年度の受講生は最小 20 名となっている。詳細は別紙「Overview」を参照すること。

※本学からの推薦後、パリ政治学院により選考される場合がある。

2. 期間

2023 年 2 月 20 日 (月) ~ 3 月 17 日 (金)

3. 本学からの募集人数

最大 20 名程度 (他のパートナー大学からの参加者数による)

4. 資格・条件

以下の要件をすべて満たすこと。

(1) パリ政治学院が定める以下の資格を有すること。

Eligibility

- ・ To have a sufficient level of English (TOEFL iBT 87, IELTS 6, TOEIC 740);
- ・ To have a background or a strong interest in Social Sciences: History, Economics, Sociology, International relations, Law

※英語学習のプログラムではなく、英語で授業・ディスカッションが行われるプログラムであるため、原則 TOEFL iBT 87 以上、IELTS 6 以上、TOEIC 740 以上が基準となっている。

- (2) 応募時及び参加期間を通じて、本学の学部又は大学院研究科・教育部 (以下「部局」) の正規課程に在学する者。(プログラム参加時に休学中の者や卒業等により本学学籍を失う者は応募不可とする。)
- (3) 2018 年 4 月以降に入学した学部学生は、[国際総合力認定制度 Go Global Gateway](#) に登録後、Go Global Statement を提出し、承認されている者のみを対象とする。Go Global Statement は一度で承認されるとは限らないため、必ず時間に余裕を持って提出すること。
- (4) 本プログラムに参加するにあたり、本学の授業履修に関して特別な配慮はないことを理解し、本学の授業・試験期間、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、全日程参加が可能な場合のみ応募すること。(推薦可能人数に上限があり、学内選考後の辞退は、他の学生の参加の機会を失うため、応募後の辞退は原則として認められない。)
- (5) 本学の授業等に出席できない場合の扱いについては、プログラム参加時の所属部局の判断によるため、

本プログラムへの参加に際し、特別な配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。

※教養学部前期課程に関しては、本募集要項プログラムの参加により授業又は試験に出席できない場合でも特別な配慮は取られず「欠席」扱いとなる。また、欠席による追試験の申請理由にもならないが、詳細は教養学部教務課に確認すること。

- (6) 本プログラム参加時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに応募することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に了承を得た日付を入れること。該当する教員等がない学生は、所定の欄に「指導教員なし」と入力すること (13. 応募方法・応募書類(3))。
- (7) 本プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科の担当部署で、応募前にプログラム参加に関する学務上の留意点の説明を十分受け、UTAS 申請書の所定の欄に担当部署名・担当者名・日付を記入し、納得した上で応募すること (13. 応募方法・応募書類(7))。記入されていない場合は申請を受理しない。業務の都合等により、急な対応は受け付けられない可能性があるため、プログラム中に所属する予定の学部・研究科の担当部署からの指示に従い、締切日までに余裕をもって説明を受けられるようにすること。なお、学部・研究科により、プログラム参加にあたって独自の条件を課す場合がある。
- (8) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、パリ政治学院から **Certificate** が付与される予定だが、本プログラムへの参加を本学の単位として認定できるかどうかは所属部局の判断による。本プログラムへの参加が必ずしも本学の単位となるとは限らないため、納得した上で応募すること。単位認定の手続き等については、所属する部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。
- (9) 別紙「Overview」をよく読み、納得した上で申請すること。
- (10) 【保険への加入】プログラムへの参加が決定した場合、留学中の保険として、公益財団法人日本国際教育支援協会 (JEES) の学研災付帯海外留学保険「付帯海学」に必ず加入すること (加入に要する経費は自己負担となる)。本保険に加入することを参加の条件とする。なお、加入に当たっての詳細は派遣候補学生に追って通知する。
- (11) 【派遣留学生危機管理サービスへの加入】プログラム参加中の危機管理対策として、日本エマージェンシーアシスタンス (株) の [派遣学生危機管理サービス OSSMA\(Overseas Student Safety Management Assistance\)](#) に必ず加入することを応募にあたり理解すること (加入に要する経費は自己負担となる)。なお、加入に当たっての詳細は派遣候補学生に追って通知する。
- (12) パリ政治学院や派遣先の国・地域、利用する航空会社、日本の水際対策措置が新型コロナウイルスのワクチン接種や PCR 検査陰性証明、新型コロナウイルス陽性となった場合の隔離等、新型コロナウイルスに関するルールを定めている場合は、そのルールに従う必要があることやそれらに係る費用は自らの負担となることを応募にあたり理解すること。
- (13) そのほか、本学・パリ政治学院が指示する注意事項に従うこと。

5. 費用

- (1) 授業料・宿泊料・航空賃等、参加に要する経費は自己負担となる。(詳細は別紙「Overview」を参照すること。)
 - Tuition fees alone: 2600 € (includes tuition fees, study trip to Brussels & 3 cultural activities)
 - Accommodation fees (estimate): 1600-1900 € per person for 27 nights
 - Not included in both abovementioned amounts: meals, flight tickets, health insurance and public transportation in Paris
- (2) 授業料・宿泊料は、パリ政治学院からの請求に基づき、パリ政治学院の指定する日までに直接支払うこと。(本部国際交流課がパリ政治学院に推薦した後、Invoice (請求書) がパリ政治学院から参加学生個人宛に直接送付される予定。)

6. 奨学金

本プログラムの参加者うち、要件を満たし希望する者には、奨学金 10 万円（返済不要）を支給する。詳細は別添 1「奨学金の支給要領及び受給資格・要件について」を参照すること。

なお奨学金受給者が、資格・条件に反する事実が判明した場合、又は受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させる。また、参加を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させることがある。

7. 応募締切

11月24日（木）正午

※応募締切以降、電子申請システムは閉じられるため、申請できない。また大きな不備のある申請は締切前に申請を完了しても受理されない。

※東京大学での募集期間は別紙「Overview」に記載の締切等と異なるため、注意すること。

8. 学内選考

(1) 東京大学グローバルキャンパス推進本部で学内選考（書類審査）を行い、通過した学生を参加候補者としてパリ政治学院に 2022 年 11 月末頃までに推薦する。

(2) 選考結果は、11 月末頃、電子メールで学生本人及び所属学部・研究科の担当部署に通知する。

(3) やむを得ない事情で申請を取り下げの場合には、遅滞なく本部国際交流課へ知らせること。

9. 学内選考通過～プログラム参加決定後の留意事項

【学内選考後の手続き】

学内選考を通過した者は、パリ政治学院に登録申請のため、必要書類の提出とプログラム料金の支払いが求められる。提出・支払い方法等の詳細については、パリ政治学院から直接学内選考通過者宛て通知がある予定。

【プログラム参加手続き及び渡航手続き】

参加手続き及び渡航手続き、査証（ビザ）取得手続き等は、パリ政治学院の指示に従い、また、留学先の国や地域の大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。キャンセルについてはキャンセルポリシーがあるため注意すること。書類不備や締切日の確認漏れ等の理由でプログラムに参加できなくなった場合は本人の責任とする。

【学内での手続き】

(1) 所属学部・研究科の担当部署に確認し、海外渡航に必要な手続きを行うこと。（必要な手続きは、所属学部・研究科毎に異なる。）

(2) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者の執務に支障をきたさないよう努めること。

(3) 参加学生への Webinar（別紙「Overview」参照）が開催されるため必ず参加すること。

(4) 申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属学部・研究科で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。必要事項の連絡の際に必要となる。

(5) やむを得ない事情により参加を辞退しなければならない場合には、採否結果の受領前であっても遅滞なく、本部国際交流課（studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp）に連絡すること。採択後の辞退の場合はさらに、所属する学部・研究科の担当部署を通じて本部国際交流課へ辞退理由書（A4 版 1 ページ、様式任意だが日付・所属・辞退理由・署名が必須）を提出すること。

(6) 本プログラムへの参加が決定した奨学金受給者が、前述の申請資格に反する事実が判明した場合、又は受給者として適当でない事実があったときは、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させる。また、留学を中断・休止した場合も、既に支給した奨学金の全額又は一部を返納させることがある。

【留学のための情報、危機管理】

一般的な留学のための情報や危機管理等については、Go Global ウェブサイトを参照すること。
(<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/voyage-index.html>) 特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。

10. プログラム参加の際の注意事項

- (1) プログラムの趣旨を理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 参加学生は、本学を代表する立場にあることを自覚し、滞在先の機関・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

11. 参加後の報告等

- (1) 参加学生は、プログラム終了日から 2 週間以内（必着）に本部国際交流課が定める報告書（所定様式）、を本部国際交流課へ提出すること。なお、提出された報告書類は、学内外の広報や学生の参考資料等に活用する可能性があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。また、参加学生のうち、2018 年 4 月以降に入学した学部学生は、併せて国際総合力認定制度 Go Global Gateway のアクティビティレポートを提出すること（提出するレポートのカテゴリーは「2. 授業・コース」もしくは「4. 国際交流活動」とすること）。
- (2) 各種奨学金等を受給した場合は、上記以外にも指定された報告書類を提出すること。
- (3) 本プログラムに参加し所定の要件を満たした場合には、パリ政治学院から単位や修了証等が付与される可能性があるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属学部・研究科の判断による。本プログラムで修得した単位等が必ずしも本学の単位となるとは限らない。（単位認定の手続き等については、所属する学部・研究科の担当部署にて事前に確認及び相談すること。）
- (4) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、本学の国際化に関する業務への協力（留学プログラムの広報や学生へのアドバイス、アンケート調査等）を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限り協力すること。

12. 問い合わせ先

※メールで問い合わせる場合は、必ず件名・氏名・所属・学年・電話番号を明記すること。

- (1) 申請手続きに関すること：
東京大学本部国際交流課 学生派遣チーム (studyabroad.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (2) 国際総合力認定制度 Go Global Gateway に関すること：
東京大学本部国際交流課 国際総合力認定チーム (go-gateway.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp)
- (3) 授業・試験日程、その他東京大学での学務関係の事項：
参加時の所属学部・研究科の担当部署
※各学部・研究科の担当部署一覧は下記を参照してください。
<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/contact-department.html>
- (4) プログラムの内容の詳細等：
本プログラムのウェブサイトや別紙に記載の問い合わせ先

13. 応募方法・応募書類

- (1) 応募締切日までに学務システム（UTAS）からの電子申請を完了させること。
- (2) UTAS の『基本情報』及び『4. 家族等関係者の連絡先』は申請画面では記入・変更できない。そのため空欄または変更が必要な場合は、応募時の所属学部・研究科の担当部署に記入・修正方法を確認し、

正しい内容を記入した状態で申請すること。

- (3) 「6. プログラム中の所属・学年」指導教員等氏名について、いない場合は「なし」と入力すること。いる場合は、「18. 指導教員への連絡」に了承を得た日付を入力すること。
- (4) 本プログラムは単発募集のため、UTAS の『8. 留学希望プログラム』において第 2 希望以降のプログラムの選択は不要。備考欄の記入も不要。
- (5) 本プログラムの申請には、パリ政治学院が定めた条件を満たす TOEFL iBT、IELTS (アカデミック・モジュール)、TOEIC の語学能力証明書の提出を必須とする。
- (6) 「16. 連絡先メールアドレスについて」「17. 募集要項と誓約書に記載の事項について」は、UTAS 上に記載された指示に沿って確認・入力すること。
- (7) 「19. プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科からの留意事項確認」には、プログラム参加時に所属する予定の学部・研究科の担当部署から参加に関する留意点の説明を受けた上で、担当部署名・担当者名・日付を記入すること。記入されていない場合は申請を受け付けない(例：●●学部△△チーム・東大花子・10月21日)。
- (8) 電子申請時に「20. 添付資料」でアップロードする書類については、下表を参照のこと。

提出書類	対象者	提出方法・備考
・学外成績証明書(評価基準が分かる部分を含むこと)	該当者のみ	東京大学以外の高等教育機関で学位を取得した者が該当する。 <u>原本をもとに、「7. 成績評価係数」を入力すること。</u>
・パスポート顔写真ページの写し	なし	ただし選考通過後、速やかに提出を求める場合があるため、保持・更新していない場合は、早めに取得・更新しておくことを勧める。
・語学能力証明書	全員	
TOEFL iBT・IELTS	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。(注1)参照。
TOEFL iBT・IELTS 以外	保持者のみ	電子申請時「9. 語学能力」で入力した場合、提出必須。(注2)参照。
※英語による学位取得コースに在籍しており、英語能力試験等を受験していない場合	該当者のみ	(注3)参照。
・誓約書	全員	指定書式(ダウンロード)を 記入・署名後 スキャンした PDF を「20. 添付資料」へアップロード。保証人の署名も必要とする。いずれの署名も電子署名も可とする。
・新型コロナウイルス感染症の影響下における渡航にかかる誓約書	全員	指定書式(ダウンロード)に 記入・署名後 スキャンした PDF を「20. 添付資料」へアップロードする。保証人の署名も必要とする。いずれの署名も電子署名も可とする。
・奨学金受給希望状況確認書	奨学金受給希望者	指定書式(ダウンロード)に 記入後 、PDFで「20.添付資料」へアップロードする。 <u>別添1をよく確認すること。</u>

(注1) 語学能力証明書 (TOEFL iBT・IELTS) (応募締切日時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。)

- ・ パリ政治学院が定めた下記の条件を満たす TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写し (TOEFL については受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする) を提出すること。
 - TOEFL iBT 87 以上
 - IELTS 6.0 以上

(注 2) 語学能力証明書 (TOEFL iBT・IELTS 以外) (応募締切日時点で、有効期限内のものとする。有効期限は各試験実施団体等のホームページ等の公式情報を参照のこと。)

- ・ TOEFL iBT または IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアを所持していない者は、パリ政治学院が定めた下記の条件を満たす語学能力証明書を提出すること。
 - TOEIC 740 以上

(注 3) 英語による学位取得コースに在籍しており、英語能力試験等を受験していない場合

- ・ 東京大学において英語による学位取得コースに在籍している学生については、TOEFL iBT もしくは IELTS (アカデミック・モジュール) のスコアの写しの提出を免除する。代わりに、東京大学の在学証明書 (英文) を提出すること。 (「20. 添付資料」の「語学能力証明書 (TOEFL iBT・IELTS 以外)」へアップロード。)
- ・ ただし、一般入試または外国学校卒業生特別選考による入学者で、進学選択により学部 3 年次から教養学部英語コース (PEAK) に進学する者及び進学した者は、パリ政治学院が定めた条件を満たす語学能力証明書を提出しなければならない。

【電子申請応募先】

学務システム (UTAS) にログイン後、画面上部にある「海外派遣」のタブより申し込むこと (「海外派遣プログラム申請の手引き」を参照のこと)。

- ◇ 学務システム (UTAS) : <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>
- ◇ 海外派遣プログラム申請の手引き (PDF) : <https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400195753.pdf> を参照のこと

【申請書類指定書式のダウンロード先】

Go Global ウェブサイトよりダウンロードすること。

https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-SciencePo_00001.html